

□ST 上昇急性心筋梗塞（STEMI）治療におけるバルーン前拡張時間に関する研究

研究課題名	ST 上昇急性心筋梗塞（STEMI）治療におけるバルーン前拡張時間に関する研究
研究期間	2021 年 3 月 30 日～2024 年 9 月 30 日
研究対象	2021 年 3 月 30 日～2023 年 3 月 31 日までの期間に、当科にて ST 上昇型心筋梗塞と診断され、冠動脈形成術（PCI）を施行された 20 歳以上の患者様
研究の目的 および意義	<p>急性冠症候群は、冠動脈プラーク（LDL コレステロールが蓄積して血管内膜が隆起した部分）の破綻とそれに伴う血栓の形成により冠動脈が急速に狭くなり血管が詰まってしまうことで急性心筋虚血を発症させる病気で、急性心筋梗塞や不安定狭心症、虚血による心臓突然死の総称です。そのうち、急性心筋梗塞は ST 上昇型心筋梗塞と非 ST 上昇型心筋梗塞に分けられ、ST 上昇型心筋梗塞は冠動脈が全身の血管に血流を送る心臓の機能が弱くなるため、発症から再び血流が戻るまでの時間をいかに短くするかが重要になり、現在では、再灌流にバルーンやステントを用いた経皮的冠動脈インターベンション治療が広く普及しています。</p> <p>本研究では、ST 上昇型心筋梗塞に対する治療においてバルーンによる前拡張時間を長くすることで治療成績が向上される報告を基に、拡張時間の違いによる成功率や短期的・長期的な臨床上的成果に影響する情報を収集し評価することを目的としています。</p>
研究の方法	ST 上昇型心筋梗塞に対して冠動脈インターベンション治療（冠動脈の狭くなった・詰まった部位をバルーンやステントを用いて治療する方法）を受けられた患者さんの状態や治療内容、経過等に関する情報をカルテから収集し、集計・評価して学会等で発表します。
試料・情報の 取得期間	2021 年 3 月 30 日～2024 年 3 月 31 日
研究に用い る試料・情報	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本情報（年齢、性別、身長、体重、病歴、心筋梗塞の状態） ・ 心筋梗塞の治療情報（検査、手技、治療に使用した医療機器・治療薬、治療時から退院までの経過） ・ 経過情報（検査、治療薬、再発の有無やその他心臓疾患等の発症の有無） ・ 血液検査データ、冠動脈造影検査画像 など
研究参加へ のお断りの 申出につい て	患者様においては、得られた情報の研究への利用をいつでも停止することができます。研究に不参加となった場合も、患者様に不利益が生じることはありません。申し出をされる場合は本人又は代理人の方により、下記の担当者までお問い合わせください。
研究責任者	循環器内科 菊田 浩一（副院長）